

< 競技注意事項 >

1. 招集は、完了時刻の 10 分前までに招集所に集合し、点呼を受けること。
2. 招集に遅れた者は、棄権として出場させない。
3. ナンバーは、胸・背部に確実につけること。ただし、跳躍競技は胸・背部のいずれかでもよい。トラック種目に出場する者は、競技者係から渡された腰ナンバーを必ず右腰後方につけること。
4. 競技用具は、棒高跳用ポールの他は会場備え付けのものを使用することを基本とする。検定を受けた用具以外は練習用としても競技場内に持ち込んではいない。
5. トラック競技のスタート合図はイングリッシュコマンドを用い、不正出発（フライング）は、1 回で失格とする。
6. 投てき練習は、危険防止のため競技開始前に審判の指示によって行う。
7. 練習場は補助グラウンドとする。ただし、投てきの練習を禁ずる。
8. 優勝者に賞状および選手権章を授与する。
9. 記録証を必要とする者は、本部へ申し出ること。（記録証代 100 円）
10. 予選を行う種目において、予選が不必要になった場合は、番組編成をやり直し、決勝の時刻に決勝を行う。
11. 他県登録のふるさと登録選手（群馬県出身選手）は決勝、追加試技の可能性はあるが、順位には入れず関東選手権の参加資格はない。
12. 跳躍競技のバーの上げ方は以下のとおりとする。

男子走高跳	開始	1 m 8 0	1 m 8 5	2 m 0 0 まで 5 c m	以降 3 c m
女子走高跳	開始	1 m 4 5	1 m 5 0	1 m 7 0 まで 5 c m	以降 3 c m
男子棒高跳	開始	4 m 0 0	以降 1 0 c m		
女子棒高跳	開始	2 m 5 0	以降 1 0 c m		

< 審判員の方々へお願い >

1. 審判員が手薄であります。審判員相互にご協力の程お願い申し上げます。
2. 主任の方は、競技終了後に小物等は器具庫へ返却するよう補助員へ指導してください。
3. 投擲器具・バトンについては、必ず用器具係りにお願いし、審判員による出し入れはしないようにしてください。

本大会の各種目上位 6 名（リレーは 6 チーム）は、関東陸上競技選手権大会への出場権を有する。（ただし、混成競技は上位 3 名、女子 3000 mSC は上位 2 位までとする。）

関東選手権出場希望者は、決勝終了後 1 時間までに出場の意思表示を、手続き受付ですること。また、本大会終了までに必要書類と参加料を添えて大会本部係まで申し込むこと。

B100m・110mJH・100mYH は国体予選参考レースのため表彰なし